

令和8年度庄原市教頭・事務長研修会

令和8年7月13日（月）庄原市立東小学校

今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭・事務長の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資することを目的に研修会を行いました。

【授業参観・協議】

東小学校全学年・全学級の授業を参観し、次の視点を中心に協議を行った。

○児童は主体的に学習していたか。

○児童は自分の学び方を振り返り、次につなげていようとしていたか。

【参加者の感想等】

- ・一人一人の実態に応じた手立てや教材研究、教室掲示の工夫が参考になった。
- ・単元構想シートやアセスメントシートなど参考にしたい取組がたくさんあった。
- ・自校でも丁寧な教材研究、子供の実態把握を行い、研究主題に沿って焦点化して取組を進めたい。
- ・「主体的」とはどんな姿なのか。子供の姿を通して教頭同士で語り合うことができ大変有意義な時間であった。
- ・事務職員も授業を見て回って教材や環境整備を考えていくことが大切だと感じた。



【講話】

「教頭・事務長に期待すること」

庄原市立東小学校 校長 一山 栄治

教頭・事務長に期待する3つの姿

- よき理解者（サポーター）…校長にはそれぞれの視点で意見具申する
職員には分かりやすく意図を説明する
- よき相談相手…判断の質を高める（情報収集・選択肢の創出・比較検討など）
- よき演技者…「いつでも話を聴くよ」相談しやすい雰囲気を作る

【参加者の感想等】

- ・改めて自分自身の管理職としての姿を見直すことができた。
- ・「判断」の質を高めて、校長の視座から考えることを意識していきたい。
- ・日々自身が忙しいオーラを出しているかもしれない。職員が気軽に声をかけられるように場面に応じて自分自身の振る舞いや仕事の仕方を考えていきたい。
- ・子供たちが安心して学べる学校づくりのため、管理職として日々取り組むことが明確になった。



【交流】

「人材育成について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導係長 伊澤 知弥

広島県教育委員会の策定した人材育成の基本方針（期待される役割と具体的な行動例、広島県教員等資質向上指標など）をもとに、各学校や学校共同事務室でどのような人育成を行っているかを交流した。

【参加者の感想等】

- ・心理的安全性を確保し、それぞれの強みを生かしたマネジメントをしていく。
- ・若年層の授業力向上はもちろん、人間性も育てるという視点を大切にしたい。
- ・職員が「働きがい」を感じられるような承認、貢献の声かけをしていきたい。
- ・事務職員を社会人として育てていくためには教頭との連携も大切である。所属、共同事務室それぞれができる関わり方を考えていきたい。

